

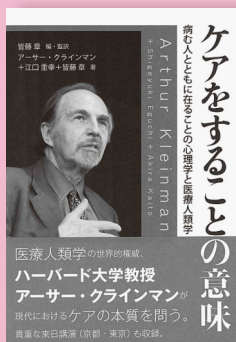
V 今月の 新刊紹介



混合研究法入門 質と量による統合のアート

著：抱井尚子
発行：医学書院
定価：本体 2000 円＋税

自然科学研究における量的・質的研究の論争を経て、それらを統合した混合研究法 (Mixed Methods Research: MMR) の方法論が醸成されつつある。看護学における MMR の第一人者である著者が、MMR 発展の経緯とそのエッセンスについて解説を行った入門書。



ケアをすることの意味 病む人とともに在ることの 心理学と医療人類学

著：アーサー・クラインマン／江口重幸／皆藤章
編・監訳：皆藤章
発行：誠信書房
定価：2400 円＋税

精神科・医療人類学者として活躍する A・クラインマンの 2014 年の来日講演録と論文 4 編を収載し、さらに日本の精神科医である江口重幸と臨床心理士の皆藤章の論考を加えている。「眼前の患者をケアする」ことの本質を語ってきたクラインマンの真意を紐解く。



計画・実施・評価を 循環させる授業設計 看護教育における 講義・演習・実習のつくり方

著：野崎真奈美／水戸優子／渡辺かづみ
発行：医学書院
定価：2600 円＋税

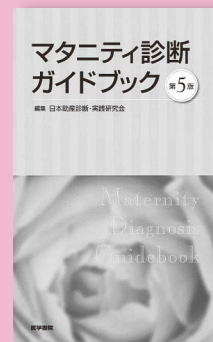
看護の授業設計において、「計画＝Plan、実施＝Do、評価＝Evaluation」サイクル (PDE サイクル) の循環をよくすることで、教授者の能力向上に加え、学習者の目標到達度をも向上させることを目的とした実践書。教員だけでなく、臨床における研修企画にも活用できる 1 冊。



精神科病院で働く看護師のための 災害時ケアハンドブック

監修：田中美恵子
編：一般社団法人日本精神保健看護学会
発行：一般社団法人日本精神保健看護学会
＊同会ホームページよりダウンロードも可

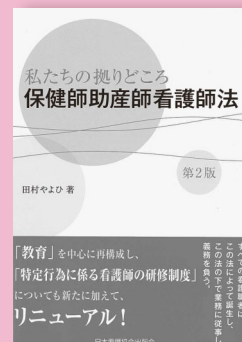
東日本大震災で被災し当事者となった精神科病院の看護師 17 名に対し行ったインタビュー結果を質的に分析。その結果から、災害発生時の対応、看護師自身のケア、被災中のメンタルヘルスケアについて知識面・実務面ともに体系的にまとめた、災害時に頼れるハンドブック。



マタニティ診断ガイドブック 第 5 版

編集：日本助産診断・実践研究会
発行：医学書院
定価：2500 円＋税

妊娠期から新生児期までのマタニティ診断 (助産診断) を網羅したガイドブック第 5 版。今回の改訂では、高齢出産・帝王切開の増加、出生前診断技術の進歩など近年の産科医療の変化を踏まえ、マタニティ診断の経過診断におけるリスク分類診断が追加されている。



私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法 第2版

著：田村やよび
発行：日本看護協会出版会
定価：本体 2000 円＋税

厚生労働省医政局看護課長として保健師助産師看護師法の改正を 3 度経験した著者が、同法の成り立ちや改正の経緯を詳説した書の改訂版。重要条文の解説では、同法にまつわる疑問に答える形となっており、看護職者としての責務や課題をより身近に考えることができる。